

令和元年度がん検診精度管理調査結果について

1 市町村 集団検診

	胃	大腸	肺	乳	子宮
山形市	B	B	B	B	B
米沢市	B	B	B	B	B
鶴岡市	B	B	B	B	B
酒田市	B	B	B	B	B
新庄市	B	B	B	B	B
寒河江市	B	B	B	B	B
上山市	B	A	B	A	B
村山市	B	B	B	B	B
長井市	B	A	B	A	A
天童市	B	B	B	B	B
東根市	B	B	B	B	B
尾花沢市	B	B	B	B	B
南陽市	B	B	B	B	B
山辺町	B	B	B	B	B
中山町	B	B	B	B	B
河北町	C	C	C	C	C
西川町	C	C	C	C	C
朝日町	B	B	B	B	B
大江町	B	B	B	B	B
大石田町	B	B	B	B	B
金山町	B	B	B	B	B

	胃	大腸	肺	乳	子宮
最上町	B	B	B	-	-
舟形町	B	B	B	-	-
真室川町	B	B	B	B	B
大蔵村	B	B	B	B	B
鮭川村	B	B	B	B	B
戸沢村	B	B	B	B	-
高畠町	B	B	B	B	B
川西町	B	A	B	A	B
小国町	B	B	B	B	B
白鷹町	B	B	B	B	B
飯豊町	B	B	B	B	B
三川町	B	B	B	B	B
庄内町	B	A	B	B	B
遊佐町	B	B	B	B	A
A	0	4	0	3	2
B	33	29	33	28	28
C	2	2	2	2	2
D	0	0	0	0	0
E	0	0	0	0	0
F	0	0	0	0	0
評価無し	0	0	0	2	3
計	35	35	35	35	35

※最上町、舟形町はR元年度、H29年度の乳、子宮がん検診実施無し。戸沢村は、R元年度の子宮がん検診実施無し。

評価基準

A	すべて満たしている				
B	一部満たしていない(1~8項目満たしていない)				
C	相当程度満たしていない(9~16項目満たしていない)				
D	大きく逸脱している(17~24項目満たしていない)				
E	さらに大きく逸脱している(25~32項目満たしていない)				
F	きわめて大きく逸脱している(33項目以上満たしていない)				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
項目数	53	53	56	56	56

3 県

山形県生活習慣病検診等管理指導者協議会活動状況にかかる評価

山形県	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
平成 30 年度 (H29 年度の評価)	B	B	B	B	B
令和元年度 (H30 年度の評価)	B	B	B	B	B

評価基準

A	すべて満たしている
B	一部満たしていない(1～17 項目満たしていない)
C	相当程度満たしていない(18～35 項目満たしていない)
D	大きく逸脱している(36 項目以上満たしていない)

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
項目数	97	97	96	100	101
評価基準 項目数	61	61	60	64	64

	質問1 令和元年度に 各がん検診※1 を実施しました か。集団検診・ 個別検診別に 回答してください。	質問1-1 対象者全員の 氏名を記載した 名簿を、住民台 帳などに基づ いて作成しまし たか	質問1-2 対象者全員 に、個別に受診 勧誘を行いました か	質問1-2-1 受診勧誘を行 った住民のうち 未受診者全 員に対し、再度 の受診勧誘を 個人紙(手紙・ 電話・訪問等) に行いましたか	質問1-3 対象者数(推計 でも可)を把握 しましたか	質問2-1 個人別の受診 (記録)戸帳ま たはデータベース を作成しまし たか	質問2-2 過去5年間の受 診歴を記録して いますか	質問3-1 受診勧奨時 に、「検診機関 用チェックリス ト1.受診者への 説明」が全項目 記載された資 料を、全員に個 別配布しまし たか	質問3-2 要精検者全員 に対し、受診可 能な精検検査 機関名(医療機 関名)の一覧を 提示しましたか	質問3-2-1 上記(質問3-2)の 一覧に掲載し たすべての精 密検査機関に は、あらかじめ 精検検査結果 の報告を依頼 しましたか	質問4-1 精検検査方法 及び、精検後 重(治療)結果 を把握しまし たか	質問4-2 精検検査方法 及び、精検後 重(治療)結果 が不明の者に ついては、本人 もしくは精検 機関への照 会等により、結 果を確認しま したか	質問4-3 個人毎の精密 検査方法及 び、精検後 (治療)結果を 市区町村、検 診機関(医療機 関)、精検検査 機関が共有し ましたか	質問4-4 過去5年間の精 密検査方法及 び、精検後重 (治療)結果を 記録しています か	質問4-5 精検検査未受 診と精検検査 結果未把握を 定義に依って 区別し、精検後 検査未受診者 を特定しまし ましたか	質問4-6 精検検査未受 診者に対する 検査の受診勧 誘を行いました か	質問5-1 がん検診結果 や精検検査結 果の最終報告 (平成30年度地 域保健・健康増 進事業報告を 含む)を計上 できるように、委 託先(検診機関 (医療機関)、 医師会など)に 報告を求めま したか	質問5-2 がん検診の結 果について、地 域保健・健康増 進事業報告の 全項目を計上 できるように、委 託先(検診機関 (医療機関)、 医師会など)に 報告を求めま したか	質問5-3 がん検診の結 果について、委 託先からの報 告内容が地域 保健・健康増 進事業報告を 網羅できてい ない場合、改善を 求めましたか (注)
山形市	実施	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米沢市	実施	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴岡市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
酒田市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新庄市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寒河江市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上市市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村山市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長井市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
天童市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東根市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
尾花沢市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南陽市	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山辺町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中山町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河北町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西川町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝日町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大江町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大石田町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最上町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
舟形町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
真室川町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大蔵村	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鮭川村	実施	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
戸沢村	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高畠町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川西町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小国町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白鷹町	実施	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯豊町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三川町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
庄内町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遊佐町	実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	問10-1-1 精検受診率を 性別・年齢5歳 階級別に集計 しましたか	問10-1-2 精検受診率を 精検受診率を 集計しましたか	問10-1-3 精検受診率を 精検受診率を 集計しましたか	問10-2 精検受診率を 集計しましたか	問11-1 がん発見率を 集計しましたか	問11-1-1 がん発見率を 性別・年齢5歳 階級別に集計 しましたか	問11-1-2 がん発見率を 検診機関別に 集計しましたか	問11-1-3 がん発見率を 検診受診歴別 に集計した か	問12-1 陽性反応適中 度を集計した か	問12-1-1 陽性反応適中 度を性別・年齢 5歳階級別に集 計しましたか	問12-1-2 陽性反応適中 度を検診機関 別に集計した か	問12-1-3 陽性反応適中 度を検診受診 歴別に集計し ましたか	問13-1 早期がん※4割 合を集計した か	問13-1-1 早期がん※4割 合を性別・年齢 5歳階級別に集 計しましたか	問13-1-2 早期がん※4割 合を検診機関 別に集計した か	問13-1-3 早期がん※4割 合を検診受診 歴別に集計し ましたか	問14-1 胃、大腸が ん)粘膜内が ん、乳がん) 非浸潤がんを 集計しましたか
山形市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米沢市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴岡市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
酒田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新庄市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寒河江市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長井市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
天童市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東根市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
尾花沢市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南陽市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山辺町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中山町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河北町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西川町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝日町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大江町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大石田町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最上町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
舟形町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
真室川町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大蔵村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鮭川村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
戸沢村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高畠町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川西町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小国町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白鷹町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯豊町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三川町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
庄内町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遊佐町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

**胃がん
(X線)**

	問10-1-3 検診受診歴が 集計されました か	問10-2 検診未受診率 を算出しました か	問11-1 がん発見率を 集計しましたか	問11-1-1 がん発見率を 性別・年齢・職 業別に集計 しましたか	問11-1-2 がん発見率を 検診実施別に 集計しましたか	問11-1-3 がん発見率を 検診受診歴別に 集計しましたか	問12-1 男性反応液中 度を集計しまし たか	問12-1-1 男性反応液中 度を性別・年齢 ・職業別に集 計しましたか	問12-1-2 男性反応液中 度を検診機 別に集計しまし たか	問12-1-3 男性反応液中 度を検診受診 歴別に集計し ましたか	問13-1 早期がん※4割 合を算出しまし たか	問13-1-1 早期がん※4割 合を性別・年齢 ・職業別に集 計しましたか	問13-1-2 早期がん※4割 合を検診機 別に集計しまし たか	問13-1-3 早期がん※4割 合を検診受診 歴別に集計し ましたか	問14-1 胃・大腸が んの検診が 非受診者の 集計を 集計しましたか
大陽が ん															
山形市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米沢市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴岡市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
酒田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新庄市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
寒河江市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長井市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
天童市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東根市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
尾花沢市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南陽市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
山辺町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
中山町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河北町	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
西川町	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
朝日町	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大江町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
大石田町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
最上町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
舟形町	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○
真室川町	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
大蔵村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鮭川村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
戸沢村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高畠町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川西町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小国町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白鷹町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
飯豊町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三川町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
庄内町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遊佐町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

令和元年度 都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の活動状況調査

調査1 精度管理指標の把握状況に関する調査

1. 受診者の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
	集団	集団	集団	集団	集団
(1) 平成30年度の対象者数（推計を含む）を把握しましたか	○	○	○	○	○
(2) 平成28年度の受診者数を把握しましたか	○	○	○	○	○
(2-1) 平成28年度の受診者数（率）を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(2-2) 平成28年度の受診者数（率）を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(2-3) 平成28年度の受診者数を検診機関別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(2-4) 平成28年度の受診者数を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	○	○	○	○	○

2. 要精検率の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
	集団	集団	集団	集団	集団
(1) 平成28年度の要精検率を把握しましたか	○	○	○	○	○
(1-1) 平成28年度の要精検率を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-2) 平成28年度の要精検率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-3) 平成28年度の要精検率を検診機関別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-4) 平成28年度の要精検率を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	○	○	○	○	○

3. 精検受診率の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
	集団	集団	集団	集団	集団
(1) 平成28年度の精検受診率を把握しましたか	○	○	○	○	○
(1-1) 平成28年度の精検受診率を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-2) 平成28年度の精検受診率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-3) 平成28年度の精検受診率を検診機関別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-4) 平成28年度の精検受診率を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	○	○	○	○	○
(2) 平成28年度の精検未把握率を把握しましたか	○	○	○	○	○

解説：未把握は、精検受診の有無が分からないもの、及び(精検受診したとしても)精検結果が正確に分からないもの全てを指します

4. 精密検査結果の把握 肺がん検診では、全項目で「胸部エックス線受診者/喀痰細胞診受診者/総受診者」別に把握・集計できていれば○とする	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
	集団	集団	集団	集団	集団
(1) 平成28年度のがん発見率を把握しましたか	○	○	○	○	○
(1-1) 平成28年度のがん発見率を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-2) 平成28年度のがん発見率を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-3) 平成28年度のがん発見率を検診機関別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-4) 平成28年度のがん発見率を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	○	○	○	○	○
(1-5) 平成28年度のがん発見率を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか	△	△	△	○	△
(2) 平成28年度のがん発見に対する早期がん割合を把握しましたか 解説：肺がんでは臨床病期0～I期のがん割合、乳がんでは臨床病期I期までのがん割合を指します	○	○	○	○	△
(2-1) 平成28年度の早期がん割合を性別・年齢階級別に集計しましたか	×	×	×	×	△
(2-2) 平成28年度の早期がん割合を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	△
(2-3) 平成28年度の早期がん割合を検診機関別に集計しましたか	○	○	○	○	△
(2-4) 平成28年度の早期がん割合を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	×	×	×	×	△
(2-5) 平成28年度の早期がん割合を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか	△	△	△	○	△
(3) 平成28年度の粘膜内がん（胃がん、大腸がん）・非浸潤がん（乳がん）を区別しましたか	○	○	△	○	△
(4) （子宮頸がん検診）平成28年度の上皮内病変（CINなど）数を区分毎に集計しましたか 解説：病変は①～④の区分毎に分けて集計すること ① CIN3または上皮内腺がん(AIS)の数 ② CIN2の数 ③ CIN1の数 ④ 腺異形成の数	△	△	△	△	○
(4-1) （子宮頸がん検診）平成28年度の上皮内病変（CINなど）数を年齢階級別に集計しましたか	△	△	△	△	○
(4-2) （子宮頸がん検診）平成28年度の上皮内病変（CINなど）数を市区町村別に集計しましたか	△	△	△	△	○
(4-3) （子宮頸がん検診）平成28年度の上皮内病変（CINなど）数を検診機関別に集計しましたか	△	△	△	△	×
(4-4) （子宮頸がん検診）平成28年度の上皮内病変（CINなど）数を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	○
(5) （子宮頸がん検診）平成28年度のがん発見に対する微小浸潤がん割合を把握しましたか 解説：微小浸潤がんは進行度I A期のものを指します	△	△	△	△	○
(5-1) （子宮頸がん検診）平成28年度の微小浸潤がん割合を年齢階級別に集計しましたか	△	△	△	△	○
(5-2) （子宮頸がん検診）平成28年度の微小浸潤がん割合を市区町村別に集計しましたか	△	△	△	△	○
(5-3) （子宮頸がん検診）平成28年度の微小浸潤がん割合を検診機関別に集計しましたか	△	△	△	△	×
(5-4) （子宮頸がん検診）平成28年度の微小浸潤がん割合を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	△	△	△	△	○
(6) 平成28年度の陽性反応適中度を把握しましたか	○	○	○	○	○
(6-1) 平成28年度の陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(6-2) 平成28年度の陽性反応適中度を市区町村別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(6-3) 平成28年度の陽性反応適中度を検診機関別に集計しましたか	○	○	○	○	○
(6-4) 平成28年度の陽性反応適中度を検診受診歴別 ^{注1)} に集計しましたか	○	○	○	○	○
(6-5) 平成28年度の陽性反応適中度を検診方法別（マンモグラフィ単独/視触診・マンモグラフィ併用）に集計しましたか	△	△	△	○	△
(7) 平成28年度のがん発見について追跡調査を実施しましたか	○	○	○	○	×
(7-1) 平成28年度のがん発見の追跡所見・病理所見について把握しましたか	○	○	○	○	×
(7-2) 平成28年度のがん発見の予後調査（生存率・死亡率の分析など）を実施しましたか 解説：この項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県も多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要です	×	×	×	×	×

5. 偽陰性例（がん）の把握 検診の実施年度は問いません		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
以下の項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県が多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である						
(1)	（受診者の追跡調査や地域がん登録等により）検診受診後の偽陰性例を把握しましたか 解説： 検診受診時には陰性であったが、その後次の検診までに、検診以外で発見されたがんを指します（基本的には1年未満に発見された大腸がん・肺がん、2年未満に発見された胃がん・乳がん・子宮頸がん）	×	×	×	×	×
(2)	偽陰性例の把握のために、地域がん登録のデータを活用しましたか 解説： 市区町村から、がん検診の偽陰性例の把握のために地域がん登録データの提供依頼があった際に、提供できる体制があれば○とご回答ください。	×	×	×	×	×
(3)	検診受診後1年以上経過してから発見された大腸がん・肺がん、2年以上経過してから発見された胃がん・乳がん、子宮頸がんを把握しましたか 解説： 住民検診受診後、規定された次の検診（基本的には、大腸・肺がん検診は1年後、胃・乳・子宮頸がん検診は2年後）を受けずに、検診以外で発見されたがんを指します	×	×	×	×	×

6. 不利益の調査 検診の実施年度は問いません		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
以下4項目は次のような方法によって把握が可能である ・厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」欄に全ての市区町村のデータを集計して ・主要な医療機関（検診や、精密検査を担当する機関）に、検診対象者の検査・治療における偶発症を報告するための依頼文書 ^{注2)} を送付し、その後報告されたものを集計している						
(1)	検診受診後6ヶ月（1年）以内の死亡者を把握しましたか 解説： 検査あるいは治療での偶発症によるもの。ただし、原疾患の悪化によるものは除きます	×	○	×	×	×
(2)	精密検査による偶発症を把握しましたか	×	×	×	×	×
(2-1)	消化管穿孔例（胃がん）、腸管穿孔例（大腸がん）、精密検査に伴う気胸や感染症（肺がん）、治療が必要な中等度以上の出血例（乳がん・子宮頸がん）を把握しましたか	×	×	×	×	×
(2-2)	その他の重要な偶発症を把握しましたか 解説： 入院治療を要するものを指します（例：前投薬起因性ショック、輸血や手術を要する程度の消化管出血、腹膜炎（胃がん、大腸がん）、経皮的肺穿刺や気管支生検による多量出血（肺がん）、検査後の骨盤内感染症（子宮頸がん）、穿刺吸引細胞診や針生検による感染症（乳がん）等）	×	×	×	×	×

注1) 初回受診者及び非初回受診者等の受診歴別： 初回受診者の定義は、過去3年に受診歴がない者（胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん）、前年に受診歴がない者
注2) 依頼文書の雛型は「自治体のためのがん検診精度管理支援のページ」<http://nxc.jp/nccscr-commu/>に掲載しています。

調査2 事業評価の実施状況に関する調査

7. 生活習慣病検診等管理指導協議会の組織・運営 (平成30年度の実施体制についてご回答ください)		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(1)	がん部会は、保健所、医師会、がん検診関連学会に所属する学識経験者、臨床検査技師等の、がん検診に係わる専門家によって構成されていますか 解説：全ての関係者が揃っているのが望ましいが、少なくとも医師会の参加が無い場合は×とご回答ください	○	○	○	○	○
(2)	がん部会は、市区町村が策定した検診実施計画/検診体制等について、検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診機関、精密検査機関等と調整を行っていましたか	○	○	○	○	○
(3)	平成30年度のがん部会を開催しましたか	○	○	○	○	○
(4)	(3)が○の場合、がん部会は、市区町村や検診機関の精度管理状況を分析・評価し、問題点の把握と改善策の検討を行いましたか 解説： ・市区町村(4-1)、検診機関(4-2)別に、がん部会の活動状況をご回答ください ・改善策の検討まで行った場合のみ○とご回答ください(精度管理上特に問題点が無かった場合は、改善策の検討をしていなくても○とご回答ください) ・回答は、集団/個別検診の別は問いません					
		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(4-1)	市区町村の精度管理状況を分析・評価し、問題点の把握と改善策の検討を行いましたか	○	○	○	○	○
(4-2)	検診機関の精度管理状況を分析・評価し、問題点の把握と改善策の検討を行いましたか	○	○	○	○	○
(5)	年に1回以上、定期的に生活習慣病検診等従事者講習会を開催しましたか 解説：生活習慣病検診等管理指導協議会から委託を受けて外部の機関(例：対がん協会支部など)が行っている場合は○とご回答ください	○	○	○	○	○

8. 事業評価に関する検討 (平成30年度に実施されたことに基づいてご回答ください)		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
		集団	集団	集団	集団	集団
(1)	チェックリスト(平成30年度検診分)に基づく検討を実施しましたか 解説：以下の問(1-1)、(1-2)のうち一つでも○の場合は○とご回答ください	○	○	○	○	○
(1-1)	個々の市区町村のチェックリスト(平成30年度検診分)について把握・検討しましたか	○	○	○	○	○
(1-2)	個々の検診機関のチェックリスト(平成30年度検診分)について把握・検討しましたか	○	○	○	○	○
(2)	要精検率等のプロセス指標(平成28年度検診分)に基づく検討を実施しましたか 解説：以下の問(2-1)～(2-3)のうち一つでも○の場合は○とご回答ください	○	○	○	○	○
(2-1)	プロセス指標(平成28年度検診分)について、全国数値との比較や、各市区町村間、検診機関間でのばらつきの確認等の検証を実施しましたか	○	○	○	○	○
(2-2)	プロセス指標(平成28年度検診分)において問題が認められた市区町村から、聞き取り調査等を実施しましたか 解説：当該年度に、聞き取り調査の対象として該当する市区町村がなかった場合にも、調査を行う体制ができていれば○とご回答ください。	○	○	○	○	○
(2-3)	プロセス指標(平成28年度検診分)において問題が認められた検診機関から、聞き取り調査等を実施しましたか 解説：当該年度に、聞き取り調査の対象として該当する検診機関がなかった場合にも、調査を行う体制ができていれば○とご回答ください。	○	○	○	○	○
(3)	チェックリスト(平成30年度検診分)やプロセス指標(平成28年度検診分)において問題が認められた検診機関に対して、実地による調査・指導等を実施しましたか 解説：聞き取り調査だけで十分改善が期待できる場合には、(十分な改善が期待できない場合実地調査・指導を行う体制ができていれば)実際に実地調査・指導を行っていても○とご回答ください。	○	○	○	○	○
(4)	実地調査等により不適正な検診機関が認められた場合には、市区町村に対して委託先の変更を助言するなど、適切に対応しましたか 解説：当該年度に、不適正な検診機関として該当する検診機関がなかった場合にも、助言を体制ができていれば○とご回答ください	○	○	○	○	○

9. 事業評価の結果に基づく指導・助言 (平成30年度に実施されたことに基づいてご回答ください)	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
	集団	集団	集団	集団	集団
(1) 事業評価の結果に基づき、指導・助言等を実施しましたか 解説：以下の問(1-1)、(1-2)のうち一つでも○の場合は○とご回答ください	○	○	○	○	○
(1-1) 事業評価の結果を報告書に取りまとめ、市区町村や検診機関に配布しましたか 解説：市区町村、検診機関の両方について実施した場合に○とご回答ください	○	○	○	○	○
(1-2) 事業評価の結果について、市区町村や検診機関に対する説明会を開催しましたか 解説：市区町村、検診機関の両方について実施した場合に○とご回答ください	○	○	○	○	○
(2) 事業評価の結果に基づき、市区町村や検診機関に対して個別の指導・助言を実施しましたか 解説：当該年度に、事業評価の結果、指導・助言の対象がなかった場合でも、個別に指導・助言をする体制があれば○とご回答ください	○	○	○	○	○

10. 事業評価の結果の公表 (平成30年度に実施されたことに基づいてご回答ください)	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
	集団	集団	集団	集団	集団
(1) 何らかの事業評価の結果を、個別の市区町村や検診機関の状況も含めてホームページで公表しましたか	○	○	○	○	○
(2) (1)が○または△の場合、ホームページではがん部会で検討した内容を公表しましたか 解説： ・がん部会での検討を経たものを公表しているのであれば、公表の実施主体は都道府県でもかまいません(都道府県主体で公表する場合、公表内容ががん部会で検討されることが分かるように示すことが望ましい) ・がん部会を開催していない場合(上記7(3)が×の場合)は、×とご回答ください ・以下の問(3-1)～(3-9)のうち一つでも○の場合は、○とご回答ください	○	○	○	○	○
(3) (2)が○または△の場合、公表内容に以下の各項目は含まれますか 解説：市区町村名、検診機関名を明記して公表した場合のみ○とご回答ください	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
	集団	集団	集団	集団	集団
(3-1) 各市区町村における、市区町村用チェックリストの遵守状況	○	○	○	○	○
(3-2) 各検診機関における、検診機関用チェックリストの遵守状況	×	×	×	×	×
(3-3) 各市区町村のプロセス指標値	○	○	○	○	○
(3-4) 各検診機関のプロセス指標値	○	○	○	○	○
(3-5) チェックリストの遵守状況(例えば実施率)が、都道府県が設定した基準に達していない市区町村への改善指導内容 ^{注3)}	対象なし	対象なし	対象なし	対象なし	対象なし
(3-6) チェックリストの遵守状況(例えば実施率)が、都道府県が設定した基準に達していない検診機関への改善指導内容 ^{注3)}	対象なし	対象なし	対象なし	対象なし	対象なし
(3-7) 精検受診率が国の許容値 ^{注4)} に達していない(乳がん80%未満、乳がん以外70%未満)市区町村への改善指導内容 ^{注3)}	×	×	×	×	×
(3-8) 精検受診率が国の許容値 ^{注4)} に達していない(乳がん80%未満、乳がん以外70%未満)検診機関への改善指導内容 ^{注3)}	×	×	×	×	×
(3-9) 都道府県用チェックリストの遵守状況	○	○	○	○	○

注3) 指導対象の市区町村、検診機関がなかったため公表を実施しなかった場合は「対象なし」とご回答ください。

注4) 国の許容値は、厚生労働省がん検診事業の評価に関する委員会「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」報告書

1 がん検診の精度管理

- 第3期がん対策基本計画を踏まえ、住民検診に関与する組織が整備すべき技術・体制については「事業評価のためのチェックリスト」（県用、市町村用、検診機関用）により自己点検し、課題の改善策を検討するとともに、県は全体の状況を把握、分析・評価、改善策のフィードバックを行うよう求められている。
- チェックリストの項目は、厚労省が実施する「地域保健・健康増進事業報告」の内容に呼応しており、受診率や要精検率などの精度管理指数の把握のほか、早期がんの把握などが重要視されている。また、県及び市町村はチェックリストの遵守状況を国及び国がんに報告し、遵守状況や評価の結果は公表されている。

2 本県の現状と課題

- 市町村は、がん検診の結果について「山形県健康診査実施要領」に定める成績表による県への報告と、「地域保健・健康増進事業報告」による厚労省への報告を行っている。報告項目は、県と厚労省で同一のものと異なるものがある。
- 現在、県の成績表により集計した結果に基づき、精度管理を行っているが、全国的にみて、都道府県独自で成績表を定め集計している例は少なく、多くの都道府県で「地域保健・健康増進事業報告」による集計に基づき、がん検診の精度管理を行っている。
- 「地域保健・健康増進事業報告」では、早期がんの把握や偶発症の把握などが全がん共通で求められているほか、がんの取扱規約改正などにより随時集計項目と様式に見直しがあり、県の成績表による検診結果の把握状況との乖離が大きく、集計方法や回報書の内容について見直す必要がある。

👉 今後の対応として、第8次山形県保健医療計画がスタートする平成36年度(平成35年度実績報告)までに、検診成績表を一本化することとし、回報書など必要な様式も見直すこととしていた。
 ※ 平成29年度生活習慣病検診等管理指導協議会各がん部会で承認され、平成30年度の県医師会がん部会中央委員会で報告済。

3 「回報書の見直しにかかる検討会」（令和2年1月開催、県医師会主催）

- 県が実施要領で定めるがん検診の回報書について、がん検診ごとに記入上の注意点等のコメントが異なり、方針（目指すのは早期回収か、最終的な結果把握か）が見えてこないため、各がん検診担当委員に集まっていたいただき、回報書のあり方について話し合いを行い、回報書の今後のあり方について検討を進めるために県医師会が開催した。
 検討会でまとめられた意見は以下のとおり

① 回報書の変更スケジュール

各がん検診の回報書について、令和2年度の県医師会各中央委員会に変更案（複数案）を提示し、委員の意見を踏まえたうえで、回報書の変更案を作成し、数年の準備期間を経て、令和6年度から変更。

② 回報書の改正にかかる視点

精密検査受診率の向上に向けた取組み（コールリコール）を考慮し、早期回収できる観点で作成。がん検診の最終的な結果については、別に調査を行い、2段階で結果を把握する方向で。

③ 県に望むこと

変更した回報書は、県下統一された回報書となるよう、市町村及び検診機関に周知すること。あわせて、がん検診の最終的な結果について、市町村が把握する必要があることを、市町村に周知すること。

3 今後の対応

- 第8次山形県保健医療計画がスタートする平成36年度(平成35年度実績報告)までに、検診成績表を一本化することとし、回報書など必要な様式も見直す。
- 回報書様式の見直しにあたっては、令和2年度の県医師会各がん検診中央委員会で検討された案を踏まえ、本協議会においても検討を行う。成績表についても回報書様式の見直し検討と並行して、「地域保健・健康増進事業報告」及び精度管理項目を踏まえた内容についての検討を進める。

[スケジュール(案)]

時期	内容
令和2年度	・ 県医師会がん検診委員会において、回報書様式の見直しを検討 ・ 山形県生活習慣病健診等管理指導協議会において、県医師会において検討された回報書様式案について検討
令和3年度	・ 県医師会、県協議会において、回報書様式の決定 ・ 成績表様式変更の検討、決定
令和4年度まで	・ 結果を市町村や検診機関等に通知
令和5年度	・ 検診機関や市町村等で必要なシステム改修 (県では第8次保健医療計画策定年)
令和6年度	・ 地域保健・健康増進事業報告への一本化スタート

7. 結果判定

胃内視鏡検診の結果は、生検の有無、判定(4段階)、診断名を基準とする。診断名は必須ではなく、必要に応じて記載する。

胃内視鏡検診の判定は、読影委員会によるダブルチェックを原則とする。生検の有無以外は内視鏡検査医と読影委員会の判定結果が異なる場合もありうるが、ダブルチェックの判定結果を最終判定とする(表1)。

1) 生検

胃内視鏡検査施行時の生検の有無を記載する。

2) 判定基準

「胃がんなし」「胃がん疑い」「胃がんあり」「胃がん以外の悪性病変」の4段階である。胃潰瘍など明らかな良性病変は「胃がんなし」、悪性病変であっても胃がんとは識別し「胃がん以外の悪性病変」とする。

3) 診断名

診断名は必要に応じて記載する。特に、「胃がんなし」の場合には、胃十二指腸潰瘍などの良性病変として治療あるいは経過観察が必要な病変、「胃がん以外の悪性病変」としては、食道がん、悪性リンパ腫などがありうる。胃がんがない場合でも、治療を要する場合には適切な受診を促す必要があることから、診断名を要する場合がある。治療方法は疾患により異なることから、事後指導として適切な説明が必要となる。

ピロリ感染診断は、今後の課題とし、地域の状況に応じて記載を追加してもよい。なお、ピロリ感染診断の内視鏡所見については、後述記載を参照する(P.90-93)。

4) 再検査の必要性

読影委員会は、検査医から提出された画像のダブルチェックを行い、検査医の診断や生検の妥当性を検証する。ダブルチェックの際、新たに「胃がん疑い」の病変を認めた場合には「再検査の必要性あり」と判断する。

表 1. 胃内視鏡検診結果判定表 (例)

氏名		男・女	生年月日 (年齢)	大正 昭和	年 月 日 (生 歳)
検診日	年 月 日				
方法	<input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 経鼻				
内視鏡検査医					
病変部位 1	食道 胃 十二指腸				
(病変部位、所見、生検部位など)					
病変部位 2	食道 胃 十二指腸				
(病変部位、所見、生検部位など)					
生 検	1. あり 2. なし				
判 定	1. 胃がんなし 2. 胃がん疑い 3. 胃がんあり 4. 胃がん以外の悪性病変				
診断名 (適宜記載)					
読影委員会					
(追加病変：部位、所見など)					
判 定	1. 胃がんなし 2. 胃がん疑い 3. 胃がんあり 4. 胃がん以外の悪性病変				
診断名 (適宜記載)					
再検査の必要性	1. あり 2. なし				

(濱島ちさと)

1

2

再検査依頼書 兼 結果通知書

平成 年 月 日

_____ 病院御中

実施機関名：

担当医師名：

本書持参の方は、読影委員会によるダブルチェックの結果、再検査が必要と判断致しました。
ご多忙中に存じますが、ご精査くださるようお願い申し上げます。

フリガナ		性別		明大昭
氏名		男・女	生年月日	年 月 日 ()
住所			電話番号	
検診年月日	年 月 日			
所見				

(太枠の欄は主治医がご記入ください。)

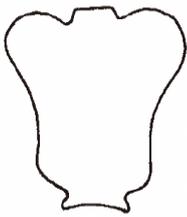
内視鏡検査・生検	再検年月日	年 月 日		
	診 断			
				
		組織診断分類 Group (1, 2, 3, 4, 5)		
判 定	1. 胃がんなし 2. 胃がん疑い 3. 胃がんあり 4. 胃がん以外悪性病変			

図 1. 検査依頼書兼結果通知書 (例)

9. 精度管理指標の算出

1) プロセス指標の算出

胃内視鏡検診の精度管理を行うためには、プロセス指標の算出が必要である。プロセス指標とは精度管理が適切に行われているかを確認するための指標であり、1年単位で算出する。算出すべきプロセス指標は、受診率、がん発見率、要精検率、精検受診率、陽性反応適中度である。それぞれの算出方法を表1に示した。胃内視鏡検診は2年に1度の受診であることから、受診率算出には2年間の受診者数から、2年連続して受診した者を除外して算出する。胃内視鏡検診において、「要精検」と判断されるのは、「生検あり」と「再検査」である。

がん発見率が低い場合には、検診受診者のうち胃がん罹患率の低い女性や若年者が多く含まれている可能性や精密検査の結果が十分に把握されていない可能性がある。一方、高い場合には、本来は診療の対象となる有症状者が含まれている可能性が高い。要精検率は、不必要な生検を避けるためには高すぎるのは望ましくないが、低すぎる場合は偽陰性が高くなる。受診率、精検受診率は高いほど望ましい。陽性反応適中度は対象集団の有病率の影響を受ける。

表 1. プロセス指標の算出

受診率	$= \frac{\text{2年間のがん検診受診者数} - \text{2年連続受診者数}}{\text{がん検診対象者数}}$
がん発見率	$= \frac{\text{1年間の発見がん数}}{\text{1年間のがん検診受診者数}}$
要精検率	$= \frac{\text{「生検あり」と「再検査」該当数}}{\text{1年間のがん検診受診者数}}$
精検受診率	$= \frac{\text{要精検と判断された者のうち、精密検査受診者数}}{\text{「生検あり」と「再検査」該当数}}$
陽性反応適中度	$= \frac{\text{1年間の発見がん数}}{\text{「生検あり」と「再検査」該当数}}$

2) 感度・特異度の算出

感度・特異度は、胃内視鏡検診の精度を判断する上で、プロセス指標よりさらに厳密な指標である。その算出には、中間期がんの把握が必要となる。中間期がんとは、検診受診時にがんなし(陰性)と判断され、次回検診までに診断されたがんと定義される¹⁾。特に、中間期がんの把握には系統的な調査が必要となることから、がん登録との照合を行うことが望ましい。

感度は「胃がんがある」と正しく診断される指標であり、特異度は「胃がんなし」と正しく診断される指標である。算出方法を図1に示した。

感度・特異度はどちらも高いことが望ましいが、一方が高くなると他方が低くなるトレード・オフの関係にある。適切な感度・特異度を設定する方法として ROC 分析(Receiver Operating Characteristic Analysis)がある(図2)。感度・特異度共に100%になるA点に最も近いB点が最適の感度・特異度となる。

Q6. 胃内視鏡検診のダブルチェックを行う医師が確保できません。どのように対処したらいいでしょうか。

A. 一部の地域では、内視鏡記録画像を電送システムでつなぎ、遠方の専門医に読影を依頼するシステムが開発されています。地域で胃内視鏡検診のダブルチェックを行う医師が確保できない場合には、こうしたシステムの利用の検討をお勧めします。

Q7. 胃内視鏡検査医により、内視鏡記録画像の枚数が異なります。画像の標準化は必要でしょうか。

A. 胃内視鏡検査では、胃の中を網羅的に観察することが重要です。多くの画像を撮っていても、すべての部位を網羅していなければ十分な診断はできません。本マニュアルを参照して頂き、必要な部位を欠かさず、30~40枚の画像を撮影するのが理想的です。

Q8. ダブルチェックの他に、内視鏡画像の点検が必要ですか。

A. ダブルチェックは主として正しい診断を行うことが目的となります。ダブルチェックの際にも撮影方法などについて読影委員会から指摘がある場合もあります。しかし、胃内視鏡検診の標準化を図るためには、画像の網羅性や診断に適した画像の点検も別途に必要です。

Q9. 胃内視鏡検診では、事前に感染症の検査が必要ですか。

A. 事前の感染症検査は不要です。ただし、内視鏡は正しく洗浄・消毒されていることが前提で、適切な方法を遵守する必要があります。内視鏡の洗浄・消毒方法は前述(P.64)を参照してください。

Q10. 胃内視鏡検診結果の「要精検」はどのように定義されますか。

A. 胃内視鏡検診の判定結果が「生検あり」「再検査あり」が「要精検」に相当します。(P.42 参照)

Q11. 胃内視鏡検診の結果はどのように伝達すればいいでしょうか。

A. 「異常なし」の判定は、郵送による結果の伝達が可能です。しかし、「胃がんあり」「胃がん疑い」「再検査あり」については、検査医が内視鏡画像を提示しながら、対面で受診者へ説明し、次の検査などの指示をすることが望ましい方法です。読影委員会によるダブルチェックの判定と、検査当初の判定が異なる場合には、必ず対面で結果を説明して下さい。

Q12. 胃内視鏡検診の偶発症が起こった場合には、どのような対応が必要でしょうか。

A. 胃内視鏡検査の偶発症は、頻度の高い鼻出血や、穿孔などの重篤で入院を要する例など様々です。一部の市区町村では、偶発症対応の責任を事前に決めている場合もありますが、偶発症の種類や程度により判断する場合があります。偶発症が起こった場合には、速やかに市区町村に報告することを義務付けてください。そのために、事前に偶発症が起こった場合の報告についてフローチャートを作成してください。

地域保健・健康増進事業報告

種別	2	政令市（特別区）以外の市町村
----	---	----------------

市区町村符号				表番号
				15100



政府統計

統計法に基づく国の一般統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

15(1) 健康増進（健康増進事業等の対象者）

都道府県名

市区町村名

平成 29 年度分

		健康診査	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
男	40～44歳(01)						
	45～49歳(02)						
	50～54歳(03)						
	55～59歳(04)						
	60～64歳(05)						
	65～69歳(06)						
	70～74歳(07)						
	75歳以上(08)						
	計 (09)						
女	20～24歳(10)						
	25～29歳(11)						
	30～34歳(12)						
	35～39歳(13)						
	40～44歳(14)						
	45～49歳(15)						
	50～54歳(16)						
	55～59歳(17)						
	60～64歳(18)						
	65～69歳(19)						
	70～74歳(20)						
	75歳以上(21)						
	計 (22)						

地域保健・健康増進事業報告

種別 2 政令市（特別区）以外の市

市区町村符号	表番号
15801	

15(8) 健康増進（がん検診）



政府統計
国勢調査等による推計値は推定値です。
 調査表掲載の細部の数値に万全を期します。

都道府県名 市区町村名
 平成 29 年度分

15(8)-01 胃がん・大腸がん

検診回数		胃がん																大腸がん							
		胃内エックス線検査				胃内視鏡検査				計				2年連続受診者数 (年度中)				受診者数(年度中)							
		受診者数(年度中)		個別検診		集団検診		個別検診		受診者数(年度中)		集団検診		個別検診		集団検診		個別検診		受診者数(年度中)		集団検診		個別検診	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)		
40～44歳	初回(01)																								
	非初回(02)																								
	計(03)																								
45～49歳	初回(04)																								
	非初回(05)																								
	計(06)																								
50～54歳	初回(07)																								
	非初回(08)																								
	計(09)																								
55～59歳	初回(10)																								
	非初回(11)																								
	計(12)																								
60～64歳	初回(13)																								
	非初回(14)																								
	計(15)																								
65～69歳	初回(16)																								
	非初回(17)																								
	計(18)																								
70～74歳	初回(19)																								
	非初回(20)																								
	計(21)																								
75～79歳	初回(22)																								
	非初回(23)																								
	計(24)																								
80歳以上	初回(25)																								
	非初回(26)																								
	計(27)																								
計	初回(28)																								
	非初回(29)																								
	計(30)																								

SAMPLE

